



ら ぶ っ く
La・Book

4月号
No.166

ご存じですか？ 図書館映画上映会！！

安曇野市図書館では、映画をきっかけに読書への興味を引き出すとともに、来館促進の取り組みとして、毎月無料の映画上映会を行っています。上映予定の映画タイトルは、下表のとおりです。

上映時間などの詳細は、上映日前に「広報あづみの」や「図書館だより」、SNS 等でもご案内いたしますので、ぜひご来館ください。

※諸般の事情により、タイトル等が変更になる場合もございます。あらかじめご了承ください。

○一般向け映画上映会

日付	映画タイトル	上映会場
4/10(金)	劇場アニメ 君の膵臓を食べたい(高杉真宙他)	中央図書館
5/8(金)	PEACE・NIPPON ピース・ニッポン(小泉今日子)	〃
5/16(土)	『映画よみがえる安曇野』・『地域映画よみがえる安曇野2』	三郷公民館 三郷図書館と共催
6/12(金)	西部の男(ゲイリー・クーパー他)	中央図書館
7/17(金)	グレートトラバース2 第三集(田中陽希他)	〃
7/19(日)	松本市在住映画監督・下向拓生さん制作 SF ミステリ映画「INTER::FACE 知能機械犯罪公訴部」&下向監督トークショー	〃
8/14(金)	サクラ花 一桜花最後の特攻一(大和田健介他)	〃
9/11(金)	100年インタビュー 小澤征爾(小澤征爾)	〃
10/9(金)	PLAN75(倍賞千恵子他)	〃
10/15(土)	調整中	豊科図書館
11/13(金)	壁抜け男 ～モンマルトル恋物語～	中央図書館
12/11(金)	劇場版 鬼滅の刃 無限列車編(花江夏樹他)	〃
1/8(金)	大師匠第5巻(橘家円蔵他)	〃
2/10(水)	蒼天の夢(野村萬斎他)	〃
3/19(金)	プロジェクトA(ジャッキー・チェン他)	〃

○児童向け映画上映会

日付	映画タイトル	上映会場
8/1(土)	調整中	明科図書館
8/5(水)	調整中	堀金図書館
8/8(土)	調整中	豊科図書館
3/6(土)	未就学児向け:双子の星&こびと観察入門 就学時向け:おまえうまそうだな	中央図書館

☆おはなし会☆安曇野市図書館 5月のイベント予定

開催図書館	おはなし会名(対象)	開催日/時間等
中央	おはなしのとびら(乳幼児以上)	13.20.27日(毎水)/10:30~
	おはなしとしゃかん(幼児以上)	16日(土)/10:30~
豊科	おはなしたんぼぼ(乳幼児以上)	15日(金)/11:00~
三郷	ポケットの会(乳幼児以上)	9日(土)/10:30~
	おはなし会(乳幼児以上)	28日(木)/11:00~
堀金	おはなしのへや(乳幼児以上)	19日(火)/11:00~
	おりがみのへや(幼児以上)	27日(水)/16:30~
明科	おはなしひまわり(乳幼児以上)	16日(土)/11:00~

◆講座など◆

会場・お問合せ先	講座名	開催日時等
中央図書館 (みらい)	映画上映会 「PEACE・NIPPON ピース・ニッポン」 111分/2018年	5/8(金) 開演:18:00(開場:17:30) 対象:一般(無料)定員:100人
	「大人のためのものづくり講座」 天蚕ブローチ作ろう 講師:赤羽悦子さん	5/1(金) 13:30~16:00 対象:18才以上 申込:4/21~ 費用:1,000円 定員:15人
三郷公民館 ※三郷図書館共催	映画上映会 『映画よみがえる安曇野』・ 『地域映画よみがえる安曇野2』	5/16(土) 13:30~16:00 対象:一般(無料) 定員:150人
堀金図書館	堀金図書館短編集を楽しむ会 『文豪の名作短編集』 ※テキストから作品を読み合い意見交換	毎月第1火曜日 13:30~15:00 第1回:6/2(火)(全6回) 対象:一般 費用:無料(テキスト各自用意) 定員:15人(4/24~先着順)

一般書 『明治のナイチンゲール 大関和物語』

田中ひかる/著 中央公論新社



2026年春のNHK朝の連続テレビ小説の原案となった作品です。看護婦という職業の礎を築いた大関和(おおせきちか)と鈴木雅(すずきまさ)。二人の生涯を辿りながら、看護学校の誕生から発展、戦争と看護婦の関わりなどを描いていきます。つながりのあった人物も多く紹介され、安曇野ゆかりの相馬愛蔵、相馬黒光、木下尚江も登場します。膨大な資料を元にした実話ですが、笑いあり、ホロリとするような会話描写あり、物語としてもお楽しみください。

児童書 『矢村のヤ助』

かこ さとし/作・絵 加古総合研究所



今年の3月31日で生誕100年を迎えたかこさとしさんが、米寿記念に作成し、全国の公共図書館に寄贈した絵本です。「鶴女房話」を子どもたちにふさわしくないと、この山鳥の恩返しのはなしを1955年に語り始め、1978年偕成社から絵本として出版し、1994年には紙芝居として全国の施設に送られた。と、あとがきにあります。この穂高の地域の昔話を子どもたちへの贈り物として選んでいただいたことに深い感謝と共に誇らしい気持ちがあります。

3月の予約ランキング

一般書

- 1 暁星/湊かなえ
- 2 カフェーの帰り道/嶋津輝
- 3 憤怒の人/杉山響子

児童書

- 1 神の蝶、舞う果て/上橋菜穂子
- 2 ノラネコぐんだんラーメンやさん/工藤ノリコ
- 3 織田信長へタイムワープ/甘夏柑子

AV資料

- 1 永遠のアイドル、永遠の青春、松田聖子。/松田聖子
- 2 ドラえもん/のび太の海底鬼岩城/芝山努
- 3 濃縮キングダムベストオブキングダム 1969-2003/キングダム

編集・発行・お問い合わせ



中央図書館 ☎84-0111
 豊科図書館 ☎71-4022
 三郷図書館 ☎76-3078
 堀金図書館 ☎72-3601
 明科図書館 ☎62-1122

(図書館ホームページ(蔵書・資料の検索もできます) <http://www.city.azumino.nagano.jp/site/tosho>)

『アゲハチョウを、昔は「かまくらちょう」と呼んでいた』

この、かつて呼んでいた呼称を誰も言わなくなったと雑談中に祖母(昭和 20 年代生まれ・大北在住)が言っていたので、Web で検索したところ「黒くて大型の蝶のことを指す関東の古い言葉」という情報がヒット。本人に確認したところ「黒いやつじゃない。普通のアゲハ」だと言うので、改めて調査することにしました。

『日本方言大辞典』『昆虫名方言辞典』に「かまくらちょう」の項目がありましたが、カラスアゲハ・クロアゲハ・或いはチョウ全般を指す語とも述べられていた上、長野県の用例はなし。唯一『北安曇誌 第一巻 自然』にのみ「アゲハ・キアゲハを指している」方言として「カマクラチョオ」の記述がありました(P.1148)。

今井彰著『鎌倉蝶』は市内に所蔵がありませんが、「かまくらちょう」という語を使う地域や由来に迫った一冊です。「かまくらちょう」の主な使用範囲である鎌倉街道沿いから外れた北安曇の一部地域でこの語が残っていることについて、著者は仁科氏との関係性を指摘しています。仁科氏の家紋は揚羽蝶。鎌倉に縁深いこともあり、元は「黒い大型の蝶」を指していた語が、この地で「仁科氏の旗印(の蝶)」として微妙に意味を変えて結びつき、根付いたのでは、という説です。都から直接繋がる大きな道はなくても、人や情報が行き交っていたことが感じられます。

【参考文献】

- ・『日本方言大辞典』徳川宗賢/監修 小学館
- ・『昆虫名方言辞典』阿部光典/著 神奈川県昆虫学会/編 サイエンティスト社
- ・『北安曇誌 第一巻 自然』北安曇誌編纂委員会
- ・『鎌倉蝶』今井彰/著 築地書館

【4月の企画(テーマ)展示】

◎全館共通

春のこども読書月間 4/10~5/10

○各館

図書館	一般書	児童書
中央	はじめての〇〇	おたんじょうび
豊科	春読「さあ冒険の旅へ!」	はじめまして
三郷	植物と暮らす	さくらが咲くとね
堀金	嘘	いきもの
明科	生活に「みどり」を	はじめての〇〇



※編集後記※
 暖かい日も増え、すっかり春の陽気になってきました。進級や進学、就職など、新しい環境での生活を始めた方も多いのではないのでしょうか。
 安曇野市図書館でも職員の人れ替えがあり、新入の司書たちが奮闘中です。利用者の皆様には、温かい目で見守っていただければ幸いです。
 今年度も、より便利で楽しい図書館づくりを励んでまいりますので、どうぞよろしくお願いたします。

★文字の読書が困難な方は、図書館へご相談ください★